

# 日本の心・伝統芸能

PART-II



唄い、踊り継がれてきたさまざまな芸能に登場する獅子が……

## 獅子のいろいろ

■平成10年3月8日(日) 開場午後1時30分 開演午後2時  
■富山県高岡文化ホール 大ホール

○能「石橋」 ○日本舞踊・民謡・民舞 ○琉球の唄と踊り

●入場料(全席自由) 3,000円

●プレイガイド

【高岡】 富山県高岡文化ホール・(財)高岡市民文化振興事業団・高岡大和

【富山】 富山県民会館・北日本新聞文化センタープレイガイド・インフォマート(市民プラザ、CIC)・富山大和

【小杉】 小杉町文化ホール

【新湊】 新湊市中央文化会館

【砺波】 砺波市文化会館

●お問い合わせ：富山県高岡文化ホール TEL.0766-25-4141



今、解き明かされる古典芸能の謎。歌舞伎のおもしろさを体感！

## 素敵に歌舞伎

■平成10年3月14日(土) 開場午後6時 開演午後7時  
■黒部市国際文化センター コラーレ カーターホール

第一部 映画「歌舞伎の魅力 ―演技―」上映

第二部 トーク&ライブ「楽屋風景」より

第三部 落語「七段目」 三遊亭圓彌

歌舞伎舞踊「藤娘」 中村京蔵

藤間勘十郎 振付 長唄・囃子連中

■出演 中村 京蔵(人間国宝 四世中村雀右衛門門下)  
三遊亭圓彌(故六代目 三遊亭円生門下)

●入場料(全席自由) 一般=3,000円 学生=1,000円

※5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。

※公演中の一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。

●プレイガイド

【黒部】 コラーレ・メルシー・ロイヤルバリー黒部

【魚津】 サンプラザ

【入善】 コスモ21

【朝日】 アスカ

【富山】 インフォマート(市民プラザ、CIC)

●お問い合わせ：(財)黒部市国際文化センター TEL.0765-57-1201

## 日本の心・伝統芸能

PART-II

## 獅子のいろいろ

平成10年3月8日(日) 開場 午後1時30分 開演 午後2時  
富山県高岡文化ホール 大ホール

唄い、踊り継がれてきたさまざまな芸能に登場する獅子。こんな「しし」やあんな「シシ」が……。荘重厳肅な「能」から、優雅で艶やかな「日本舞踊」や賑やかな「民謡」、そして豪華な紅型の衣装でダイナミックに唄い舞う「琉球舞踊」まで、いろいろな獅子があなたを伝統芸能の世界へと誘います。



【第一部】獅子をテーマに繰り広げられる古典の世界を紹介します。沖縄歌舞劇団による琉球王朝時代の「宮廷舞踊」で始まり、「日本舞踊」の扇獅子や連獅子が続きます。そして、地唄舞の名手として、国際的に活躍中の舞踊家出雲 蓉さんが登場。その一流の技と芸で魅了します。最後は、霊獣の獅子が牡丹にたわむれつつ勇壮に舞い、「能」の中で最も豪華な演目とされる「石橋」で締めくくります。

【第二部】『唄い・舞い・踊る』—— 沖縄をはじめ、全国各地のさまざまな唄と踊りに出会う旅へ出かけます。獅子にまつわる民謡や民舞と、独特な音楽でエネルギー溢れる沖縄・琉球の芸能がたっぷりの、華やかな舞台をお届けします。民謡歌手 村松直則さんも出演。自慢ののどを披露します。

案内役に自らも日本舞踊の名取りで、伝統芸能に明るい落語家の柳家さん喬さんを迎え、楽しいおしゃべりとわかりやすい解説を交えてお楽しみします。

## 沖縄歌舞劇団

沖縄が生んだ不世代の舞踊家で、天才的な振付師でもあった故宮城美能留が主宰し、世界30数カ国で上演実績をもつ沖縄歌舞団を母体とする劇団。

## 出雲 蓉

神崎ひで門下の地唄舞の名手。ヨーロッパ・マイム界のサミー・モルショウに師事。ヨーロッパ・マイムと日本のマイムを融合した「舞夢」を創出。昭和62年度文化庁芸術祭賞(舞踊部門)受賞。平成7年度文化庁芸術祭大賞(演芸部門)受賞。

## 村松直則

故小林照玉師のもとで唄・太鼓を修業。昭和45年原田直之の内弟子となり、直則の号を許される。西の唄を得意とし、端唄、俗曲、歌謡曲など、レパートリーも広い。国民文化祭とやま'96にゲスト出演。

## 柳家さん喬

昭和42年五代目柳家小さん(人間国宝)に入門。56年真打に昇進。59年度国立演芸場花形新人大賞受賞。61年度選抜!若手演芸大賞受賞。62年度文化庁芸術祭賞受賞。落語界の中核を担う実力派。

## 地元出演団体

地元能楽会、藤栄会、紫翠会、華の会、薫会、豊笑会、豊丘会ほか

## これで貴方も歌舞伎通 素敵に歌舞伎

平成10年3月14日(土) 開場 午後6時 開演 午後7時  
黒部市国際文化センター コラーレ カーターホール

江戸時代に生まれ、娯楽の花形として愛された歌舞伎。入門映画、落語、実演によって解明される古典芸能の秘密、最後は歌舞伎独特の美の世界へご案内。洗練された様式美をお楽しみに。

【第一部】映画「歌舞伎の魅力—演技—」上映

【第二部】歌舞伎座の楽屋を模した舞台に繰り広げられる寸劇で構成します。

出番を前に支度を始めようとする歌舞伎俳優。そこへ楽屋見舞いがてら出番までの暇つぶしにやって来た落語家…。

二人の会話を通して、歌舞伎入門からウラオモチ、歌舞伎と落語の関わりなどが解き明かされてゆく。そしていよいよ化粧、着付け等の実演。俳優さんがみるみる白塗りの美しい女形に変身してゆく様をご覧ください。歌舞伎に学ぶ「美しい身のこなし方」も伝授。さらに、お客様に舞台上がっていただき、歌舞伎独特の化粧である「隈取」をほどこすというサービスも予定。

【第三部】落語「七段目」 三遊亭圓彌

—— 芝居が大好きな若旦那とそれを戒める父親の滑稽な情景を、いぶし銀の芸で披露。

歌舞伎舞踊「藤娘」 中村京蔵

藤間勘十郎 振付 長唄・囃子連中

—— 「女形」歌舞伎舞踊の決定版を長唄・囃子入りという本格的歌舞伎舞台で舞う。

## 中村 京蔵



東京生まれ。昭和57年国立劇場歌舞伎俳優養成所第6期生。研修終了後、四世中村雀右衛門門下となり中村京蔵を名乗る。平成6年名題昇進。歌舞伎座、国立劇場、南座等歌舞伎本公演、全国各地地方公演に出演するほか、歌舞伎の女形をベースにした創作作品への出演、舞踏をはじめとした異ジャンルとの共演等幅広く活動を展開。昨年3月アメリカでフラメンコと共演した創作舞踊「新版血の婚礼」は高い評価を得ている。

## 三遊亭 圓彌



昭和11年東京の四谷生まれ。昭和33年に春風亭柳枝に入門。翌年師匠の没後六代目三遊亭円生に入門「円弥」となる。昭和47年真打に昇進し現在の「圓彌」と改める。NHK「お好み演芸会・嘶家横町(昭和50~55年)」に「幻の嘶家」としてレギュラー出演。円生直伝の演目のほか古典の味わいをじっくり聴かせる「いぶし銀」の芸風が寄席で人気。ネタ数の多さには定評がある。